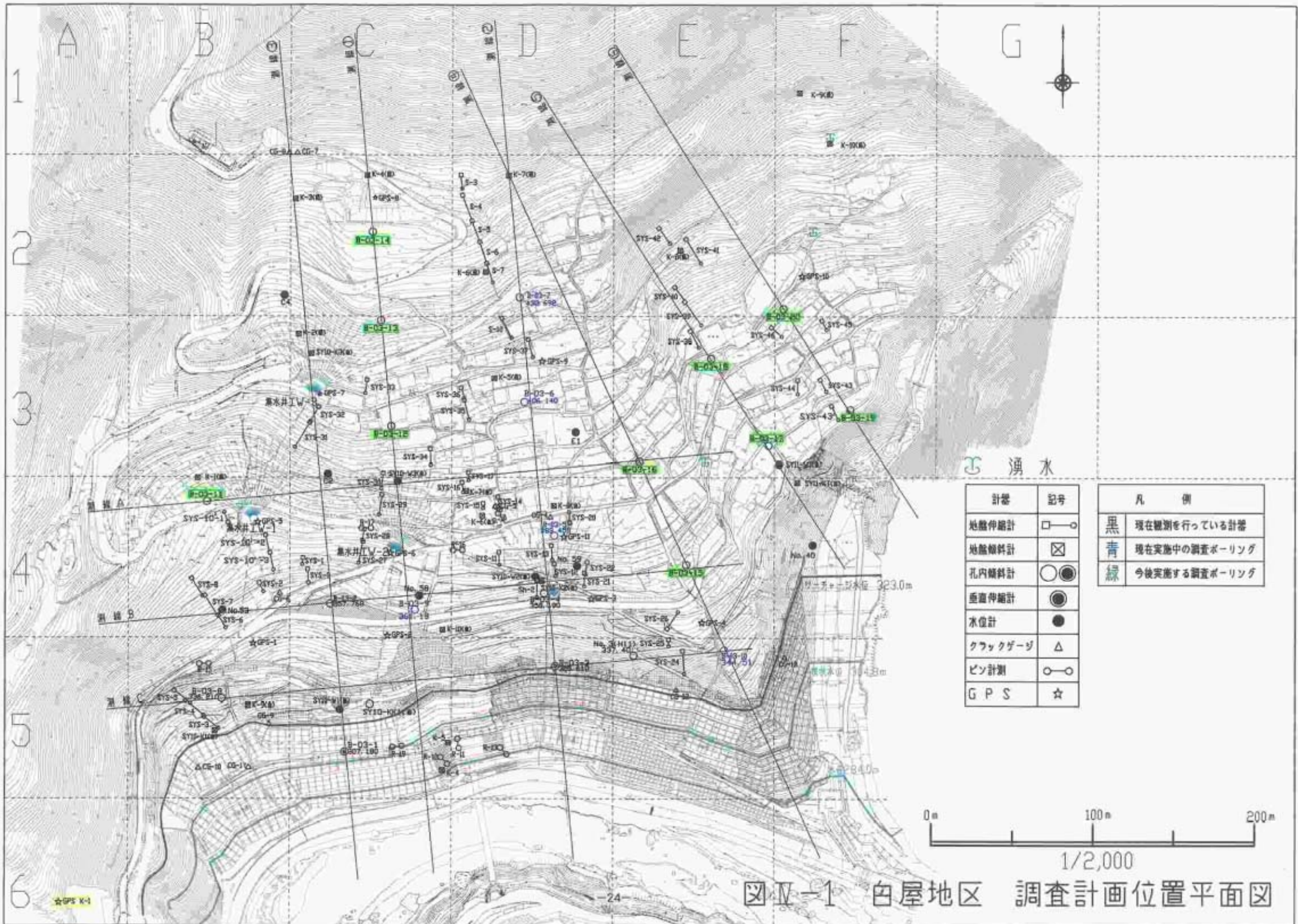


・今後の調査計画

事 項	要 点				備 考		
	<p>白屋地区の対策工等を検討するための基礎資料とすることを目的として、現在まで実施している緊急調査内容に加えて表 - 1 及び図 - 1 に示す調査を計画する。</p> <p>なお、貯水位低下後、のり面の変状状況により、対策工法を考慮して末端部の調査ボーリングを検討する。</p>						
	<p>表 -1 緊急調査内容一覧表</p>						
	調査・観測項目	番号	実施状況	追加計画		目的	
	調査 ボーリング	B03-1	済			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面末端部における変動の有無及び変動位置を確認する。	
		B03-2	済			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	
		B03-3	済			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面末端部における変動の有無及び変動位置を確認する。	
		B03-4	済			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより変動の有無及び変動位置を確認する。	
		B03-5	施工中			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	
		B03-6	済			亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-7	済			亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-8	済			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	
		B03-9	施工中			地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより変動の有無及び変動位置を確認する。	
		B03-10	済			尾根部が不動岩盤であり、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面変動範囲が上流部へおよんでいないことを確認する。	
		B03-11		50.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-12		80.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-13		75.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-14		70.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	
		B03-15		90.0m		尾根部が不動岩盤であり、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面変動範囲が上流部へおよんでいないことを確認する。	
		B03-16		90.0m		尾根部が不動岩盤であり、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面変動範囲が上流部へおよんでいないことを確認する。	
		B03-17		60.0m		亀裂現象位置よりも上流側斜面において地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することで地山内変動の有無を確認する。	
		B03-18		50.0m		亀裂現象位置よりも上流側斜面において地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することで地山内変動の有無を確認する。	
		B03-19		60.0m		亀裂現象位置よりも上流側斜面において地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することで地山内変動の有無を確認する。	
		B03-20		50.0m		亀裂現象位置よりも上流側斜面において地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することで地山内変動の有無を確認する。	
	対策工健全度調査		2箇所			亀裂発生箇所付近に近接する集水井の変形及び集水ボーリング孔の変形調査(検尺棒等)	
	透水試験	B03-2,3,4,6,7	20箇所			貯水位変動に伴う地山内部の水位変動及び残留状況を推定するための地山内透水係数の把握	
	観測	地盤伸縮計	47基			亀裂現象の変動状況及び、白屋地区の変動範囲を把握する。また、変動量により警戒・避難体制の資料とする。	
		地盤傾斜計	7基			地盤変動状況及び変動範囲を把握する。	
孔内傾斜計		8箇所 (施工中2箇所)	10箇所		調査ボーリング孔を利用して、地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。		
地下水位		10孔					
クラックゲージ		10基			人家等構造物に亀裂が発生した場合、その後の変動を把握する。		
GPS		12基			水準測量、定点観測を実施する代わりにGPS測量により変動範囲及び変動状況を把握する。		



湧水

計器	記号
地盤伸縮計	□—○
地盤傾斜計	⊗
孔内傾斜計	○●
垂直伸縮計	●
水位計	●
クラックゲージ	△
ピン計測	○—○
G P S	☆

凡 例	
黒	現在観測を行っている計器
青	現在実施中の調査ボーリング
緑	今後実施する調査ボーリング



1/2,000

図Ⅳ-1 白屋地区 調査計画位置平面図

☆GPS K-1

24